トーヨーカネツソリューションズ

社長　柳川　徹

4機能を集約した“マルチシャトル”

トーヨーカネツソリューションズの「マルチシャトル」は、入出庫能力で業界ナンバーワンを誇るケース用バッファ・ストレージシステムだ。従来の自動倉庫は保管を主にしたものだったが、マルチシャトルは〝保管〟の機能に加えて〝仕分け〟〝ピッキング〟〝補充〟の4つの機能を集約し、必要な時に必要な物を入出庫できる高度な処理能力を備えている。

「入出庫場が狭い」「到着したトラックにすぐ積み込みたい」「カテゴリー仕分けをしたい」「出荷待機・一時保管をしたい」「高能力のピッキングをしたい」「ラインにジャストインタイムで補充したい」など、物流現場における顧客の様々な課題を、作業の効率化と高いコストパフォーマンスにより〝マルチ〟に解決できる業界トップの画期的なストレージシステムに仕上げた。

マルチシャトルはイニシャルとランニングにおける投資のダブルメリットを実現する。イニシャルコストダウンについては①省設備化（入出庫能力30％アップ）②省スペース化（25％以上）の効果を期待でき、ランニングコストダウンに関しては①稼働時間短縮（高能力による人時工数、稼働電力削減）②省エネルギー（消費電力30―70％削減）③イージーメンテナンス（シンプルな構造で故障が少なく、復旧も早い）を実現する。同社はデモ見学を通じて、マルチシャトルの魅力を積極提案中だ。

会社プロフィール

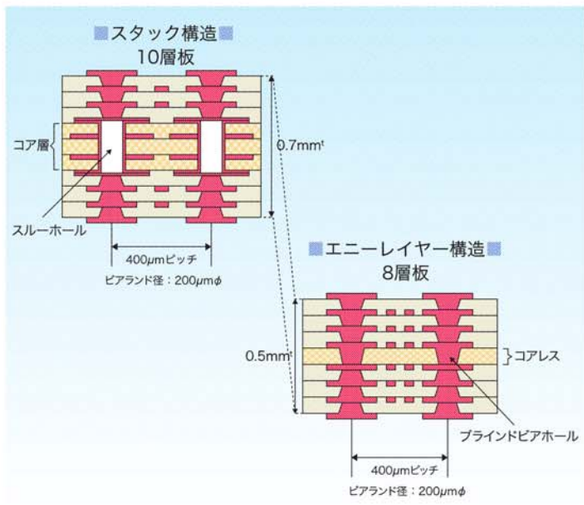
社名　トーヨーカネツソリューションズ株式会社
所在地　〒136-8666 東京都江東区東砂 8-19-20
TEL　03-5857-3126
FAX　03-5857-3180
URL　http://www.tksl.co.jp
業種　物流システムの企画、設計、製作、施工、および販売

トーヨーカネツソリューションズの主力製品は、流通業、空港、郵便などの物流システム（コンベヤ、仕分け装置、WMSなど）。中でも空港手荷物搬送システムでは国内No.1の実績を誇り、生協など流通業界にも強い。

荏原ユージライト

会長　粕谷　佳允

スマートフォンの機能支える銅メッキ薬品



荏原ユージライト（JCU）は、「スマートフォン」や「タブレットPC（パソコン）」などのモバイル多機能端末で需要が拡大している銅メッキプロセス（メッキ薬品およびメッキ条件）を顧客企業に積極提案する。

エニーレイヤー構造向けビアフィリング用銅メッキプロセスと呼ばれる製品で、配線密度の高い多段層基板（ビルドアップ配線板）の各層を接続するためのプロセスだ。

モバイル多機能端末はネット検索はもとより、電子書籍やカーナビゲーション、ポータブルゲーム、ネットテレビなど多目的に使用され、今後も同端末向けプリント基板用メッキ薬品などの需要拡大が見込まれている。

今後、同端末に使われる多段層基板は、薄型軽量で高密度化が可能なエニーレイヤー構造のビルドアップ配線板の採用がますます拡大していく見通し。同社はこの需要動向を見据え、同配線板向け銅メッキプロセスにより力を注ぐ。

同社が新たに積極提案する銅メッキプロセス「CU―BRITE VL（キューブライト VL）」は、エニーレイヤー専用のプロセスで、大きいサイズのビアホール（メッキ箇所）を従来より薄い膜厚でメッキできる点に大きな特徴がある。従来のプロセスと比べてコストダウンとファイン回路設計の両提案が可能で、スマートフォンなどの普及を追い風に顧客提案を強化する。

会社プロフィール

社名　荏原ユージライト 株式会社
所在地　〒110-0016 東京都台東区台東4-19-9
TEL　03-3833-0321
FAX　03-3833-5075
URL　http://www.jcu-i.com
業種　表面処理用薬品、表面処理用装置および関連資機材の製造・販売

メッキを中心とする表面処理薬品と装置を、自動車、建材、水栓金具、電子部品、半導体等の様々な分野に提供、プロセスからアフターフォロー等までを含めた総合的な提案と提供を行い、顧客要望にマッチした開発、製造及び販売に努めている。

仲代金属

社長　安中　茂

多品種金属を精密シートカット加工

仲代金属は、最大幅600ミリメートルの金属箔を精密に切り分けるシートカット加工を積極受注する。板厚0・002ミリ―1ミリメートル（金属材料による）という極薄の金属箔に対応し、0・1ミリメートル単位で切断する金属箔の全長を設定できる。従来はプレス成形していた大型の金属箔が、金型を使わずに微調整を加えながら加工できるようにした。

試作品や小ロット品から量産品まで、受注内容は広範囲をカバーしている。また加工可能な金属についても、アモルファス金属をはじめ各種非鉄金属、複合材まで多品種にわたっており、これも同社の強みとなっている。

同社のシートカット加工技術は、これまで長年にわたってスリット加工技術で培ってきた豊富な経験を基に確立したものだ。スリット加工は帯状の金属箔を縦方向に切り分ける加工だが、このスリット加工とシートカット加工の一貫受注にも対応できるため、運送コストを抑えながら一括した製品管理を行えるという利点も同社は備えている。また、急な納期対応や、金属表面の傷を除去しながらの作業など、顧客企業の注文にも臨機応変に対応し、きめ細かな受注活動を展開している。

近年の薄型テレビやスマートフォンの普及により、薄い金属箔を使用した難易度の高い技術が要求されている金属加工。知恵と技術を惜しむことなく発揮し、金属の軽薄極細化時代に挑む。

会社プロフィール

社名　株式会社 仲代金属
所在地　〒121-0055 東京都足立区加平2-9-2
TEL　03-3605-7730
FAX　03-3605-7753
URL　http://www.nakadai-metal.com
業種　精密スリット加工などの金属受託加工

1974年の創業以来、一貫して「細・薄」スリット加工技術を磨いてきた。87年にアモルファス合金の加工に、近年では0.1mm×0.1mmの超精密シートカット加工の技術を確立した。金属の調達は自社で行わず、受託加工に専念している。

ターボシステムズユナイテッド

社長　秋田　隆

過給機の新しいメンテナンスプログラム

ターボシステムズユナイテッド（TSU）は、船舶および発電所向け過給機で独自のメンテナンスプログラムを積極提案している。メンテナンスをTSUに全面委託していただき、過給機の実際の運転時間に比例してメンテナンスコストを算出することで最適な費用対効果や業務の効率化を図る「OPAC（オペレーション・パフォーマンス・パッケージ）」が代表的なプログラムです。また、心臓部であるセンターカートリッジの整備をTSUでおこなう「センターカートリッジ交換システム」は過給機の安全性、信頼性を大幅に向上することが可能です。

OPACは、ユーザーと5年以上のメンテナンス契約を結び、契約期間中はオーバーホールはもとより、部品の消耗に伴うサービスも実施し、メンテナンス料は過給機の実際の運転時間に比例して算出します。このOPACの利点は大別して4点です。①メンテナンスの年間予算を事前に把握できるため、予算管理が容易②メンテナンス費用の削減が期待できる③ABBの世界100ヶ所以上のサービスステーションにて全世界で均一・高水準のメンテナンスを受けられる④高性能を維持するための計画的なメンテナンスである、など多くのメリットがあります。

センターカートリッジ交換システムは定期的にセンターカートリッジを交換し、最適な運転状態を保つことが可能なサービスです。使用済センターカートリッジはTSUのワークショップでメンテナンスされ、交換時に必要となるスペアキットと共に納品しますので船内では交換のみが必要となり、信頼性が高くなります。また、再生済みセンターカートリッジは運行中やドックなど、お客様のスケジュールに合わせてお好きな場所で交換していただくことも可能です。

ABBグループは独自のデータバンクでユーザーの運航計画を随時把握し、そのスケジュールに従って過給機の安定的な稼働を支えていきます。

会社プロフィール

社名　ターボシステムズユナイテッド株式会社
所在地　〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラルビル 16 階
TEL　03-5611-5988
FAX　03-5611-5978
URL　http://www.turbo.co.jp/
業種　過給機の販売・過給機のアプリケーションにおける技術コンサルティング

当社はABBおよびIHIが生産する過給機とその補用部品の供給を受け、日本・台湾市場の各エンジンメーカならびにユーザに対し、最高の品質の製品とサービスの提供を目的として設立、世界トップクラスの過給機サプライヤとして、グローバルに世界最高の製品を市場に提供することを目指していきます。

サンコーテクノ

社長　洞下　英人

屋上設備の設置レイアウトの自由度を高めた金属製基礎

サンコーテクノは、コンクリート陸屋根に設置する太陽光発電の架台固定に最適なあと施工アンカー「あと基礎アンカー」を開発、前年より販売を開始した。

アンカー自体が基礎部となる同製品は、コンクリートスラブに直接固定が可能になるという特長を持っている。そのため、従来工法のようなコンクリート基礎の設置が不要となり、工程・工期の短縮、施工コストの削減が図れる。重量は1個約2キログラムと軽く、建物の固定荷重を50分の1～80分の1に軽減できる。さらに、本体部に防水受け金具がある形状から雨仕舞い処理も容易に行えるようになっている。

また同社製品の「テクノパネル工法（屋上外断熱防水工法）」と組み合わせることで、屋上の外断熱・防水処理の作業が効率よく行え、環境面でも効果を発揮できるようにした。

あと基礎アンカーは、今年3月に東京ビッグサイトで開催された「第2回太陽光発電システム施工展」に出展され、来場した多くの業者から高い関心を集めた。太陽光発電の需要が急速に拡大するなか、全国の小中学校で実績が出るなど着実に売上を伸ばしている。現在では、様々な屋上防水材へ適応した製品ラインナップやサイズバリエーションを拡充している。同製品は太陽光発電架台の他、各種設備機器の取付けが可能なことから、今後の展開がさらに注目される。

会社プロフィール

社名　サンコーテクノ株式会社
所在地　〒270-0114 千葉県流山市東初石 6-183-1
TEL　04-7178-5535
FAX　04-7178-5557
URL　http://www.sanko-techno.co.jp/
業種　特殊ねじやドリルビット、電動油圧工具の製造・販売

機器をコンクリートに取り付ける、あと施工アンカーと呼ばれる特殊ねじの最大手メーカー。その他、ドリルビットや電動油圧工具、耐震補強工事なども扱う。近年は「安全・安心・環境」をキーワードに製品開発を推進。「あと基礎アンカー」は同社のノウハウが活かされた製品となっている。

「東日本大震災」の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東東京支局